

第804号 2013年9月22日発行 日本共産党裾野支部



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

党ができて9年間、弱い者、困っている人の味方一直線の共産党。

困ったことは小沢、岡本のなんでも相談へ

小澤良一議員の 9月議会 代表質問

市役所内にトヨタなど大企業対策組織設置を提案

9月9日会派共産党を代表して小澤良一議員が代表質問を行いました。

小澤議員は、トヨタなど市内大企業が裾野市から移転する動きを取り挙げ市役所として対策組織の設置を要求。

答弁に立った副市長は、市役所に対策組織を設置する事を表明しました。

共産党議員団は前々から、市内大手企業が市内から移転する動きを重視して議会で取り上げてきました。自動車関連企業や精密機械企業の存在は裾野市の税収に大きく貢献してきた経緯があります、高額納税の時には30億円余もありました。

その大手企業のトヨタ自動車が車両走行部門を愛知県岡崎市のトヨタ研究所(現在造成中)に移転する動きがあり、関東自動車は他の車体会社と合併しトヨタ

自動車東日本会社を設立。宮城県大衡村に本店を構え自動車生産を宮城に移し、裾野から人と生産が大衡工場に傾注されることに。キヤノンは1,600人の従業員が昨年川崎市の研究所に400人移転して1,200人となり規模が縮小された。

結果、裾野市の問題として、①大手企業からの税収減により市民への行政サービスが低下する、②移転に伴う従業員の移動により人口減少と個人市民税の減少、③働き盛りの人口減少は裾野市の活況に影響が出てくることになる。

追記 小澤議員の代表質問後、会派「歩志の会」の代表質問に立った増田喜代子議員に対して、大企業対策組織として具体的な組織として「(仮称)企業立地推進本部」を10月に市長を本部長として立ち上げることを表明しました。

市民運動公園ジャンボローラー滑り台は修理や建て替えに多額の費用が必要 (行政答弁) ⇒ 小澤議員が市内外からの利用者に人気の滑り台再開を要求



共産党議員団が政務調査費を活用して実施した「市民アンケート」に、市民運動公園のジャンボローラー滑り台が故障していて利用できない、との声が寄せられました。

代表質問で市民内外の利用者に人気があり利用できないまま放置した施設の問題を取り上げました。ローラー滑り台の利用できない原因は、ローラーの破損により多額な経費が必要で修理費は 4,200 万円、滑り台として古く現在の安全基準に適合した滑り台に建て替えるには 1 億 4,000 万円必要でどうするか思案中で利用不可としていることが当局から答弁されました。小澤議員は、市民から人気の高い滑り台は廃止することなく楽しめるようにすべきと要求しました。

任期満了の市長選挙投票日は 2014 年(平成 26 年)1 月 26 日(日)

裾野市選挙管理委員会は市長の任期満了(1 月 29 日)となる市長選挙を 1 月 19 日告示、1 月 26 日投票と決めました。今のところ公の場で市長選挙に立候補を表明している人は有りませ

ん。

市議会議員で立候補する議員が出ますと議員欠員により議員補欠選挙が市長選挙と同日程で行われます

共産党市議団 (小沢良一・岡本和枝) 2014年度 裾野市 予算施策要望 (その2)

4)福祉政策

- ① 生活保護申請の窓口対応の改善と受給者へ指導・指示について。
申請者に対して威圧的ではなく、生活保護申請をまず受理すること。生活保護受給者の指導・指示は、受給者の私生活に干渉しないこと。受給者の意向に反し指導・指示は強制しないこと。
(生活保護法 27 条。27 条 3 項から)
- ② 後期高齢者医療費助成の継続と対象者への広報。
- ③ 地域包括支援センター出先所の設置と相談業務の拡充(出先所は地域公民館などを活用)。
- ④ 低所得者向けの住宅確保〔市営住宅建設をしないならば賃貸住宅の借り上げによる住宅提供〕
- ⑤ 一人暮らし高齢者の外出支援策などの検討。(高齢者食事や交流場の提供など)
- ⑥ 認知症対応のショートステイの充実



(認知症専門のスタッフ配置)と訪問看護の充実。

- ⑦ 介護保険制度の下でお金次第で介護の質が決まる現介護制度の改善。

5)子育て支援と教育施策

- ① 西幼稚園・西保育園の民間移行に反対。公設公営での運営を求めます。裾野市が進めている幼児施設基本構想の中身は「公的保育」を放棄する内容で、保護者や乳幼児に歓迎される内容ではない。市は保護者にシステムの内容を知らせ、今後の裾野市の子育てのあり方を論議すべきと提案する。
- ② 保育園・幼稚園、小中学校教育備品や施設備品の予算枠の拡大。
- ③ 幼稚園3才児入園抽選影響で市外幼稚園選択保護者への私立幼稚園授業料等負担軽減事業費補助金未支給の解除。(市民公平の原則に反する行為)
- ④ 幼稚園3才児入園抽選問題解消策の

私立幼稚園授業料補助などの効果の検証と対応策。

- ⑤ 市街地、市街化調整

区域とも子どもの遊ぶ屋内外の場所が不足しているので 計画建設。

- ⑥ 小中学生と保護者への「メディア・リテラシー教育(情報判断力)」の取り組みと充実。

- ⑦ 東中学校への特別支援学級(情緒)の新設。現在東小学校には特別支援学級(知的2クラス、情緒1クラス)有ります。東中学校には現在、知的クラスし



かありませんので新設を要望します。

6)健康文化都市と健康づくり施策

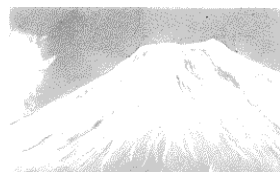
- ① 裾野市赤十字病院の診療科目の充実と医師確保。市民協働による病院充実対策。
- ② だれでも安心して医療が受けられるようにするために国民健康保険税の負担軽減策として「その他一般会計」からの繰入金増額
- ③ 食生活(通称生活習慣)による罹患発生と必要知識の啓発を地域毎に定期的に開催し、予防医療に取り組む市民の育成を市事業として展開する。

7)市民サービスを担う臨時職員の待遇改善

- ① 臨時保育士の確保が難しくなっている現状は、市正規保育士職員と臨時保育士の賃金格差に起因することは明確である。同一労働同一賃金の原則にたち格差是正をすること。
- ② 放課後児童教室の指導員の専門性を生かした指導と労働対価の改善

8)富士山世界文化遺産登録と裾野市の対応

富士山世界文化遺産登録は山岳信仰との深い関わりによるところであるが、裾野市として世界遺産登録で観光客の増加が見込まれるとの観光行政面だけではなく、山岳信仰や富士登山者の宿泊施設(御師の家)あるいは須山登山道や須山御胎内の保存などの課題にどのように取り組んで行くのか計画策定が必要である。



一旦停止の停止線が
引き直され「止まれ」
標示板のポールも
目立つように改善されました



「明るい裾野800号」の茶畑版で危険を指摘していた茶畑のクリエイトエスディー店西北のT字路交差点の停止線がはっきりとわかるように引き直されて、「止まれ」標示板もポールが目立つように改善されていました。市の早々の対応に感謝。

cocopoco
こころ

三島街道を下って平松踏切の手前、裾野警察署・百均・コンビニの向かいにあるバス停待合所。角パイプとアクリル板で作られた市内一の近代的外観の施設です。しっかりしたベンチも備え付けられ

ています。



不思議に思うのですが、バス停待合所は誰が作るのでしょうか。富岡小前のは「富士急」と名前の入った長椅子のあるバス停待合所です。バス会社が作る、と考えるのが普通だと思うのですが、前号紹介のバス停待合所のように、「もしかしたら個人所有なのかな？」と考えられるようなバス停待合所もあります。どなたかご存じでしたら教えてください。(友)